土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名	砂防工事全体計画書作成業務
事業・工事名	
調査目的及び調査対象	砂防　構造物基礎

ボーリング名	Bor No.2-西ノ谷川支川-補助基準点3	調査位置	広島県安芸郡海田町	北緯	34° 21′ 05.8009″
発注機関	広島県西部建設事務所	調査期間	令和2年 8月29日～ 令和2年 9月 1日	東経	132° 33′ 38.0033″
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 220.40m	角度	180° 上 90 下 0° 0°	方向	北 0° 90° 東 180° 南 270° 西
総削孔長	8.00m	地盤勾配	18° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦D0 / エンジン：ヤンマーNS100 / ポンプ：東邦BC-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日
1	219.60	0.80		粘土混じり砂		暗褐			木根を含む 細～中砂の砂を主体とする 径1cm以下の礫を少量混入する	
2	218.50	1.90		砂		褐	rd1		細～中砂の砂を主体とする 径1cm以下の礫を少量混入する	
3	217.90	2.50		礫混じり砂		灰褐	rd2		径4cm以下の礫を20～40%混入する 砂は中～粗砂を主体とする	
	217.40	3.00		粘土質砂		茶褐			細～中砂の砂を主体とする 細粒土分を20～30%含有する	
4	215.95	4.45		玉石		灰白			L=20～55cmで採取する玉石及び転石 花崗岩質 玉石間は細～中砂を主体とする砂である	
5	214.90	5.50		礫混じり砂		灰褐	rd4		径4cm以下の礫を20～30%混入する 砂は中～粗砂を主体とする GL-4.90～5.10m間は風化した玉石	
6	214.30	6.10		花崗岩		淡灰			DH級岩盤 柱状コアで採取するが風化が進行し指圧で土砂～細礫化する	9/2 6.65
7	212.40	8.00		花崗岩		淡白灰			CH級岩盤 L=30～40cmの柱状コアで採取する コア肌は若干粗い 亀裂面は暗茶褐色に変色する GL-7.20～7.60m間はコア肌が粗く短柱状～岩片状で採取されるが一部で土砂化する	

標準貫入試験

深度―N値図（0 10 20 30 40 50 60）

N値	深度 (m)	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
3	1.15	1	1	1	3/300		
	1.45						
10	2.15	4	3	3	10/300		
	2.45						
40	4.60	8	11	21	40/300		
	4.90						
50以上	5.50	50			50	70	
	5.57	70			70		
50以上	6.05	50			50	20	
	6.07	20			20		

試料採取

深度 (m)	試料番号	採取方法

室内試験

削孔月日
8/29
8/31
9/1